

平成二年度

修復文化財関係銘文集成

〈凡例〉

- ・本集成は、平成二年度に、京都国立博物館文化財保存修理所において文化財の修復時に確認された銘文等(納入品を含む)を取めたものである。
- ・配列は、彫刻・絵画に分け、それぞれの銘文の年代順とし、年紀のないものを後にまとめた。
- ・銘文の解説は担当者側の判断によったが、なお参照資料として、図版・挿図をできるだけ多く入れた。
- ・改行は原文どおりを原則とした。なお漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- ・法量の単位はセンチメートルである。
- ・各銘文の末尾に、①西暦年 ②修理施工者 ③参考文献 ④所在地 ⑤備考を付した。
- ・銘文の解説、釈文の作成は、国指定分については文化庁文化財保護部美術工芸課が、それ以外は岩田茂樹(当館文化財保存修理管理指導室客員研究員)がそれぞれ担当した。
- ・本集成は、担当者が修理所で行った銘文の調査に基づく。その際、各工房から写真等の資料の提供を受け、図版および挿図として使用した。

目次

彫刻

- 1 獅子頭 弘安三年 三重 伊奈富神社
- 2 地藏菩薩坐像 嘉元三年 大阪 宗福寺
- 3 文殊菩薩坐像 正慶年中・応安六年・永徳三年 京都 戒岩寺
- 4 狛犬 延元五年 大阪 小山田元宮
- 5 随神立像 永禄十二年 愛媛 大山祇神社
- 6 聖観音坐像 天和三年 愛知 万徳寺
- 7 大日如来坐像 元禄八年 滋賀 石山寺
- 8 千手観音立像(五〇一・五〇三・五〇四・五〇六号) 無年紀 京都 妙法院

絵画

- 9 当麻曼荼羅図 寛永十八年・寛永十九年 滋賀 西教寺
- 10 十一面観音像 寛文十一年 香川 志度寺
- 11 釈迦十六善神像 明和八年・天保十二年 兵庫 聖徳寺
- 12 仏涅槃図 天明六年 愛知 名古屋市博物館

彫刻

1 獅子頭 (図1) 三重県指定文化財

一面

三重 伊奈富神社
木造彩色 高二〇・五

〔頭頂裏墨書〕

弘安三年
庚辰正月
稻生三大禰

①弘安三年 (一二八〇)

②(財)美術院

④三重県鈴鹿市稻生町

2 地藏菩薩坐像 (図2)

大阪府指定文化財

一軀

大阪 宗福寺
木造彩色 像高一・五

〔像内背板裏墨書〕

薬師寺御仏也
嘉元三年乙 十二月日
公文沙弥覚念御房之御時
住僧賢良房

①嘉元三年 (一三〇五)

②(財)美術院

④大阪府阪南町箱作

3 文殊菩薩坐像 宮津市指定文化財

一軀

京都 戒岩寺
木造 像高八九・五

〔像内背面墨書〕

此本尊之御面ノ雖□□ 古老云

給ヘル□□^(永カ)二年壬戌十月廿日 正慶年中^ニ後ノ大松倒テ文殊石□□

仏壇ノ内ヨリ火お□□^(こりカ)仏羅 打摧^{ウチ}クタクト云々

皆焼ルニ堂^ニ本尊不焼□□□□也^矣

奉修復海石寺住持臨阿弥陀仏^(佛カ)是即天橋立道□□^(住)

南無阿弥陀仏 天照大神建立御寺也雖然此寺自然破壞顛倒之

為無主間領主等方々雖遣寄進狀□□未□□立^之

去応安六年三月廿六日夜半依天照因^(神宮)

告御座自同廿七地引□□ 御堂^建

立畢 永徳三年□□ 日

住持臨阿弥陀仏^(佛カ)敬



〔像内前面墨書〕

奉加入衆

再興 所願成就 皆令満足

施主宗周

女姪一人志所也

□伝ニハ行基之御作ト云々

此寺ニ延喜御寄進状

両通アリ□□記ス之

- ①正慶年中（一三三二）〜三四）・応安六年（一三七三）・永徳三年（一三八三）
- ②（財）美術院
- ③（財）京都府文化財保護基金『京都の美術工芸 与謝・丹後篇』（昭和五十八年）
- ④京都府宮津市字波路二九三十一

4 狛犬（図3） 大阪府指定文化財

一対

大阪 小山田元宮

木造漆箔 像高（阿形）五〇・二（吽形）五二・三

〔阿形・像底部墨書〕

延元五戊辰

小山田宮

五月廿七日

〔同・像底左前足裏墨書〕

小

〔同・像底右前足裏墨書〕

山

〔同・像底左後足裏墨書〕

小山田

〔同・像底右後足裏墨書〕

田

〔吽形・像底部墨書〕

延元五

小山田

宮五

月



〔同・像底左前足裏墨書〕



田

〔同・像底右前足裏墨書〕

〔同・像底右後足裏墨書〕

山

①延元五年（一三四〇） ②（財）美術院 ④大阪府河内長野市小山田 ⑤延元五年は戊辰ではなく庚辰年に当る。また、この年四月二十八日に興国と改元されている。よって延元五_辰年五月廿七日は、正しくは興国元_{庚辰}年五月廿七日となる。

5 随神立像（図4）

一 軀

愛媛 大山祇神社
木造彩色 像高一八六・九

〔体幹部第二層中央左方材前面墨書〕

門神御 西方天

〔体幹部第三層中央材前面墨書〕

三嶋州前けんけう有敵之息女とよ今は付縁ニ

木本宿候此門客人之御事さくらのをま

うけ候はんとては此かとまらうとより御はかせお給

いかゝとゆめにみ候てまうけて候にやけさせ給候て

後ニ木本ニなかつかさ入道と申候物あまの

このゆくゑも不知候物の夢ニさくらののあ

まこせんに今一度みゑもせと仰候てさめくゝとむ

つかり候て御なけきあるとみ候てかたり申候しほとにわ

さとまひりてみまひらせこのあま御せんもなけき候しほとにこの

やうをゆめにみてなんちおはまうけてあると申て候へは□□

此門客人おは観阿弥陀仏と円阿弥陀仏とをやこして作て

候也

〔像内納入銘札表面墨書〕

門客人永禄十二年己巳歳大蔵破随之水ニ守門流破次年庚午村上河内守且那本願安周仏師松原孫左

〔同・裏面墨書〕

於三嶋崇徳寺三月廿五日ヨリ四月廿二日迄一軀作立也寺団家逆意ニヨリ神慮不知無念くゝ

①永禄十二年（一五六九） ②（財）美術院 ④愛媛県越智郡大三島町宮浦 ⑤本像を含め、立像二軀と倚像二軀の計四軀で一具をなす。うち、元亨二年（一三二二）の造像銘を有する立像一軀については

『学叢』第十三号に掲載。

6 聖観音坐像 稲沢市指定文化財

一 軀
愛知 万徳寺

木造漆箔彩色 像高九六・〇

〔台座蓮肉部上面朱書〕

当寺檀那下津（村カ）（富カ） 回半兵衛法名了阿洞意信士

求此聖観（観カ） 附于先師宥榮々欣然召

仏工而修（修カ） 然無座光及宮殿予從泊

瀬梅心院（院カ） 当寺信士謂予曰欲造此座

光等毎月十八日（就カ）（観カ） 音經捨（捨カ） 者阿堵物而成（成カ）

応其言矣価直尚未足信士補不足令成就之乃至法

界平等拔濟 尾州万徳寺第廿二世法印蓮（意カ）

天和三年（癸亥）十二月吉日

〔同・裏面墨書〕

尾州名古屋松原町

天和三年

亥之十二月二日 里脇（花押）

仏師池田半兵衛

- ①天和三年（一六八三）
- ②（財）美術院
- ④愛知県稲沢市長野町三丁目二一五七
- ⑤像内前面部にも墨書があるが、ほとんど判読不能。

7 大日如来坐像（図5） 滋賀県指定文化財

一 軀

滋賀 石山寺

木造 像高一〇一・七

〔像内頭部墨書及び朱書〕

（右耳孔）

五郎丸

南無阿弥陀仏

（朱書）

再興之仏師京堀川住

大仏師法橋弘教

乙 元禄八年

亥 六月下旬

毘沙（四ツカ）□丸

尼寛妙

円アマミタ仏

梵字
（ア）
阿弥陀（左耳孔）○

□アマミタ仏

□アマミタ仏

金アマミタ仏

土用□□□

①元禄八年（二六九五） ②（財）美術院 ③松島健「石山寺多宝塔の快慶作本尊像」『美術研究』三四一号、昭和六十三年） ④滋賀県大津市石山寺一丁目

8 千手観音立像（五〇一・五〇三・五〇四・五〇六号）（図6） 重要文化財

四軀

京都 妙法院

木造漆箔 像高一七四・八（一八二・〇

〔五〇一号・左足柄前面墨書〕

院（カ）

〔同・台座裏下框芯棒受材及び下框天板裏面墨書〕

院祐 二

〔五〇三号・左足柄外側墨書〕

（判読不能、花押か）

〔同・右足柄前面墨書〕

大之（カ）□

〔同・台座下框中棧裏面墨書〕

定心四（カ）（三箇所）

大之（カ）□（右足柄前面墨書と同じ）

〔五〇四号・左足柄外側墨書〕

隆円

〔同・右足柄外側墨書〕

実検了

長快

（花押（カ））

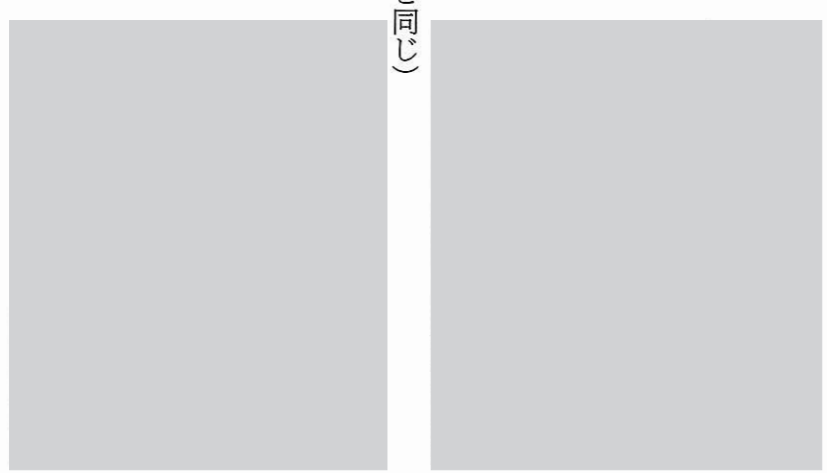
〔五〇六号・左足柄正面刻銘〕

恵円（カ）五

②（財）美術院 ③『蓮華王院（本）堂千躰千手観音像修理報告書』（妙法院、昭和三十三年）

④京都市京都市東山区大和大路通渋谷下ル妙法院前

側町 ⑤符丁、数字のみの銘文については省略した。



絵画

9 当麻曼茶羅図 重要文化財

一幅

滋賀 西教寺

絹本着色 縦二二〇・〇 横二二〇・九

〔軸木墨書〕

御湯茶羅表具師城州愛后郡京三条六角通大黒町岡村庄右衛門尉
時寛永拾八年極月吉如天

〔表装裏墨書〕

浄土曼茶羅一幅

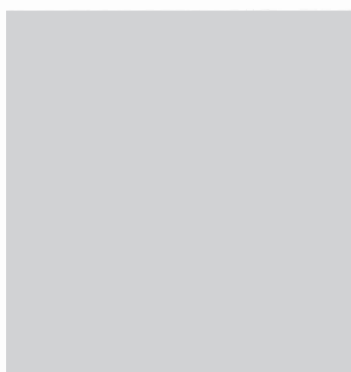
恵心僧都御真筆也

表補絵施主喜西法師

選修為菩提也

寛永十九稔十二月十五日

西教寺常住物



〔上巻絹墨書〕

浄土曼陀羅 西教寺常住物 表具寄進喜□時□□

- ①寛永十八年(一六四一)、寛永十九年(一六四二)
- ②(株)岡墨光堂
- ④滋賀県大津市坂本本町

10 十二面観音像 重要文化財

一幅

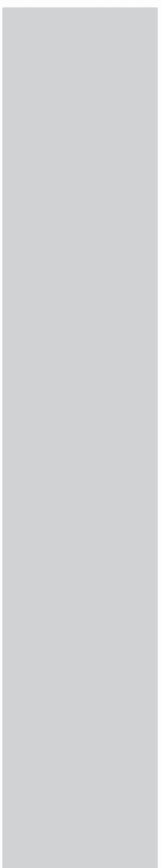
香川 志度寺

絹本着色 縦二〇三・〇 横八六・〇

〔上巻絹墨書〕

志度寺本尊絵像□ 寛文十一 亥七月二十五日

有馬玄蕃頭頼利室修補焉



- ①寛文十一年(一六七二)
 - ②(株)岡墨光堂
 - ④香川県大川郡志度寺
- 一一〇二

11 釈迦十六善神像 重要文化財

一幅

兵庫 聖徳寺

絹本着色 縦一一一・〇 横六四・五

〔表具裏墨書右〕

表具再興 維時明和八年歲次辛卯秋九月吉辰

〔表具裏墨書上〕

大般若曼荼羅 一幅

施主 大阪土橋 播磨屋忠兵衛

現住權大僧都法印上人純応代

卯年 七十一才男

卯年 五十九才女

酉年 二十九才男

戌年 二十八才男

丑年 二十五才女

午年 八 才女

右永代家内安全息^災

延命之祈願不可有懈怠

者也

天保十二^辛 丑年十月廿一日

金百疋 施主 氏子中

発起 庄屋 福西角右衛門

右村中安全之祈祷永世

□可有怠慢者也

摂州在馬郡小野村

松尾山太山寺

什物

〔表具裏墨書左〕

摂州□□柏原村西光寺現住覺道世

①明和八年(一七七二)、天保十二年(一八四二) ②(株)光影堂

③菅村亨「聖徳寺本釈迦十六善神像について」(兵庫県立歴史博物館

『三田の文化財』、一九八八年)、林 温「十六善神像の古例―兵庫・

聖徳寺所蔵釈迦十六善神画像(『国華』一一五六号、一九九二)

④ 兵庫県三田市小野八三九

12 仏涅槃図(図7)

紙本著色 縦三四〇・〇 横三〇六・〇

愛知 名古屋市博物館

〔画中左下隅墨書(落款)〕

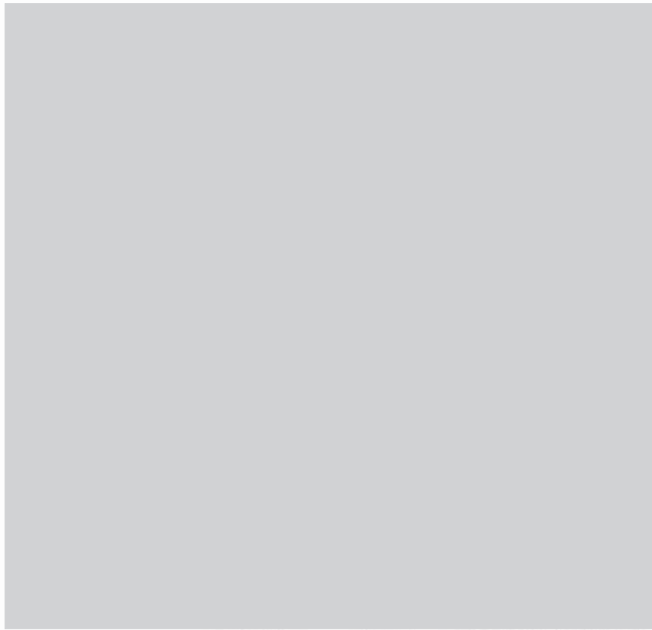
天明六年歲在丙午

正月廿日弟子月僊

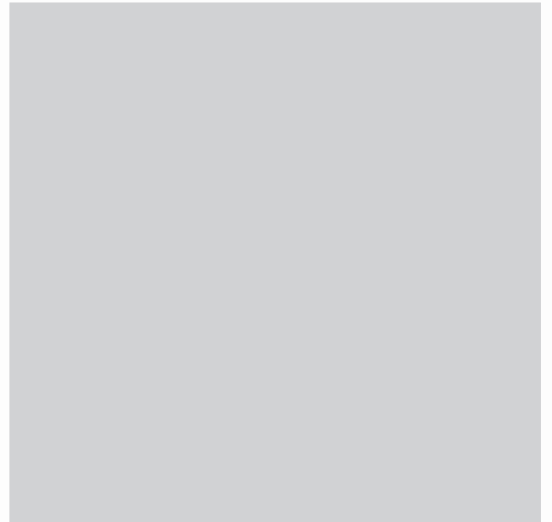
焚高拜画(白文方印 白文方印
寂照主人(月 僊)

①天明六年(一七八六) ②(株)墨申堂 ④愛知県名古屋瑞穂区瑞

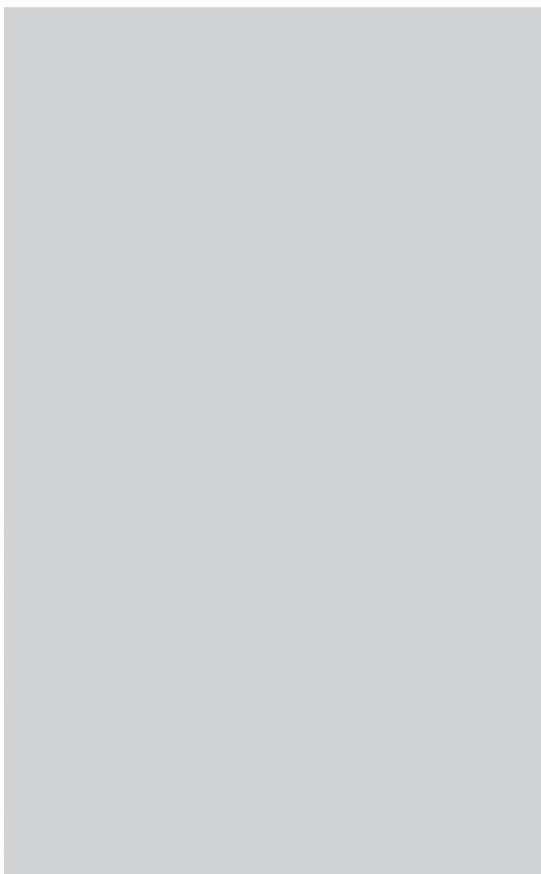
穂通一―二七―一



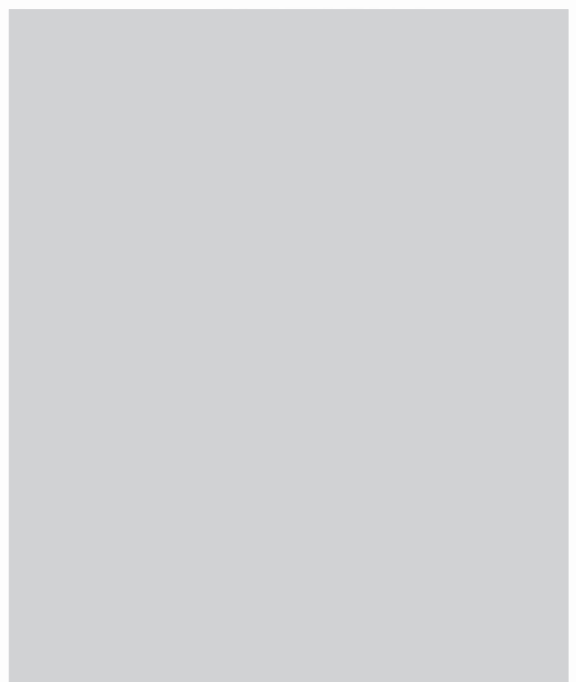
(頭頂裏)



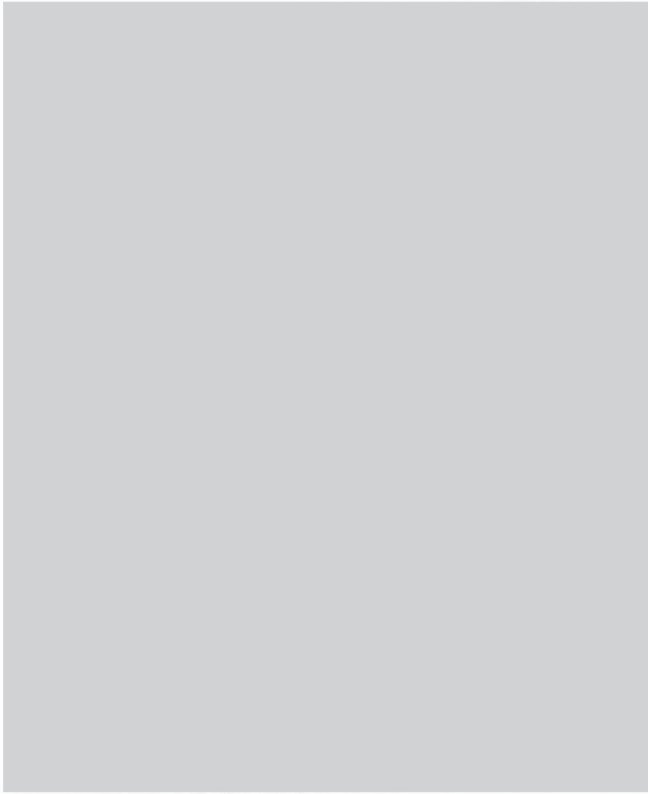
1 獅子頭 伊奈富神社



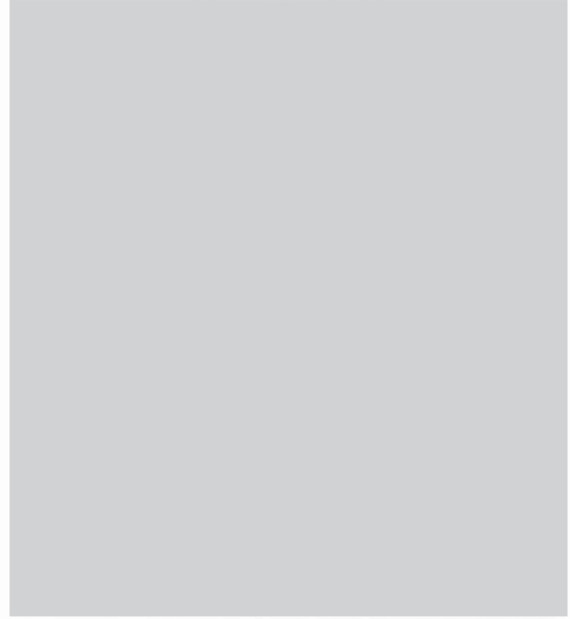
(背板裏)



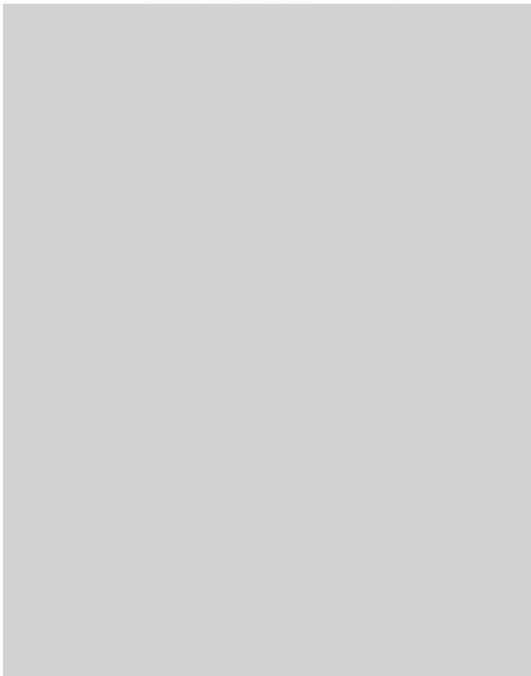
2 地藏菩薩坐像 宗福寺



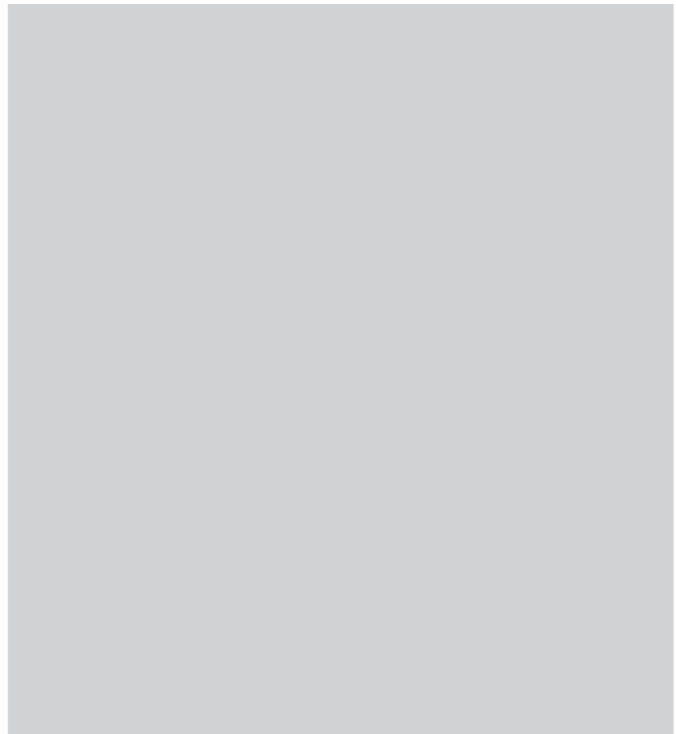
(阿形・像底)



(阿形)

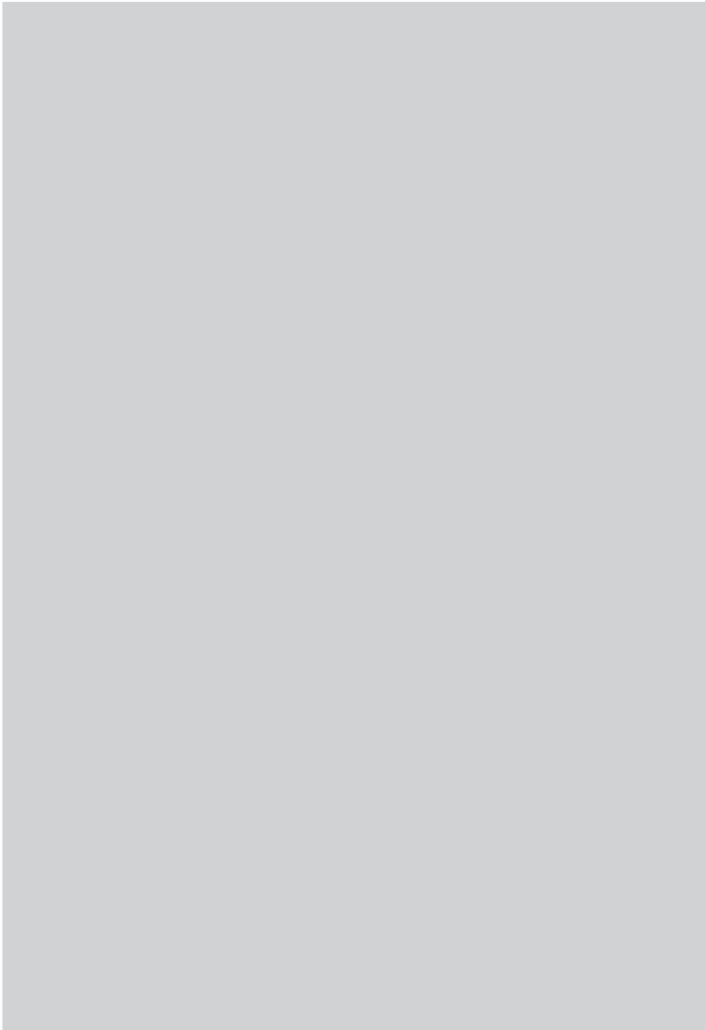


(咩形)

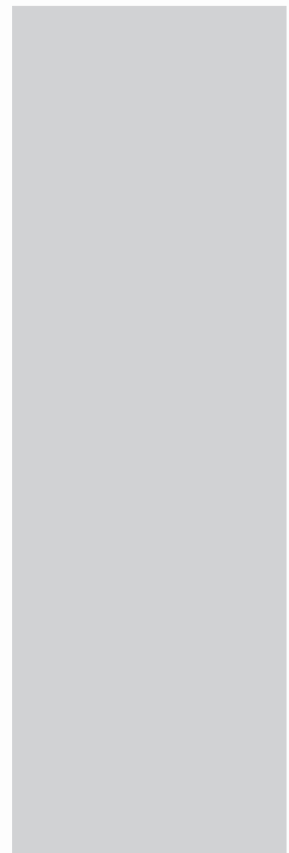
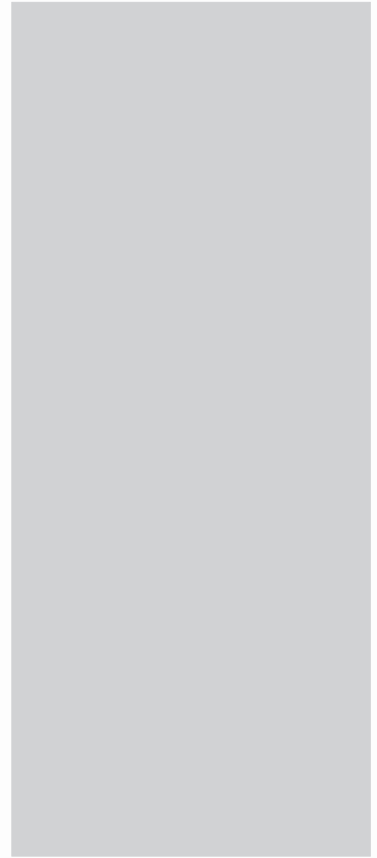


(咩形・像底)

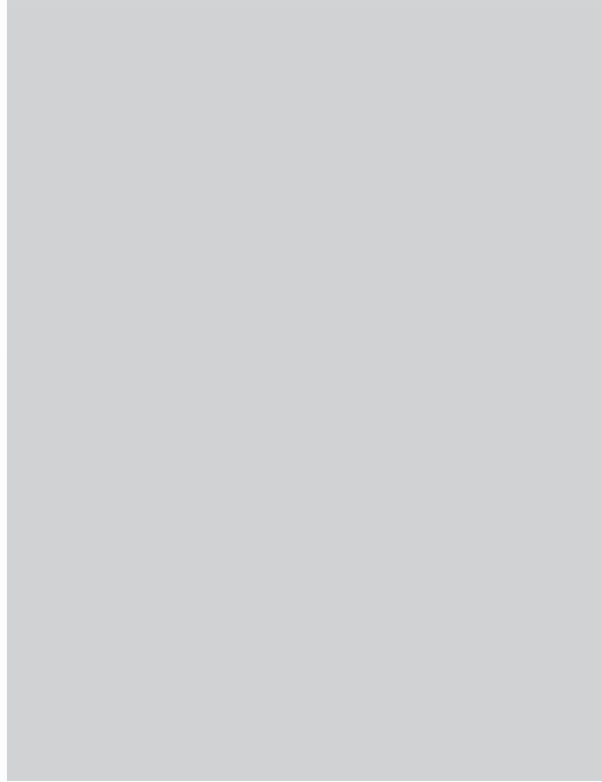
3 狛犬 小山田元宮



(体幹部第三層中央材前面)

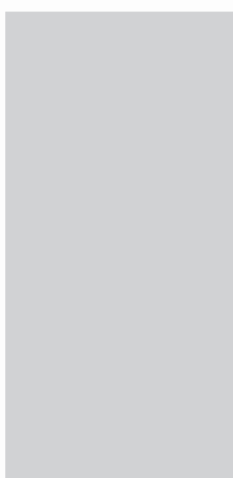


(体幹部第二層中央
左方材前面)

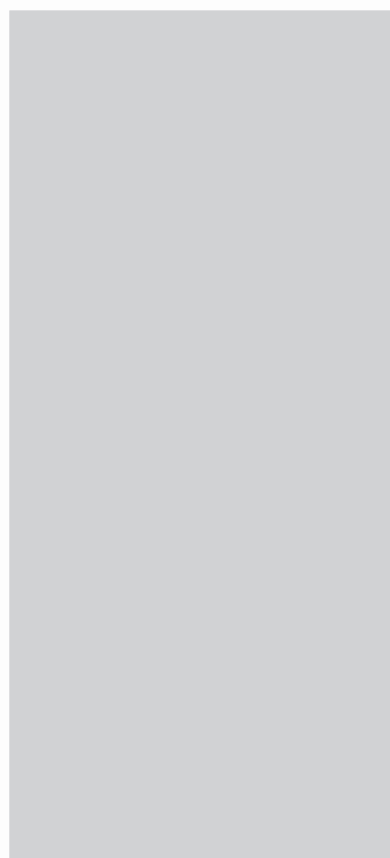


(像内頭部)

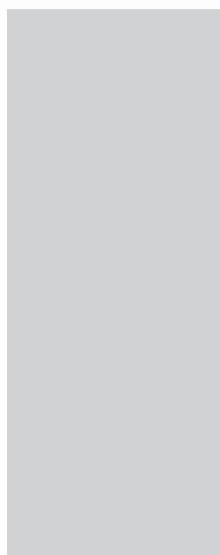
5 大日如来坐像 石山寺



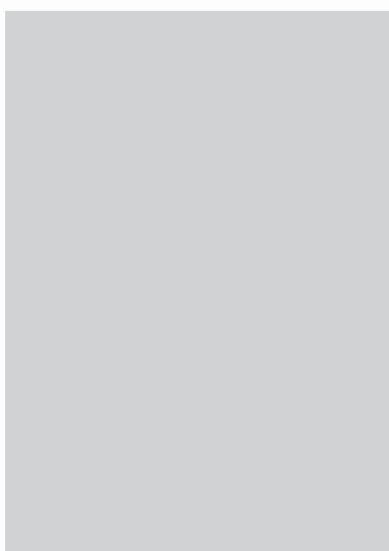
(左足柄前面)



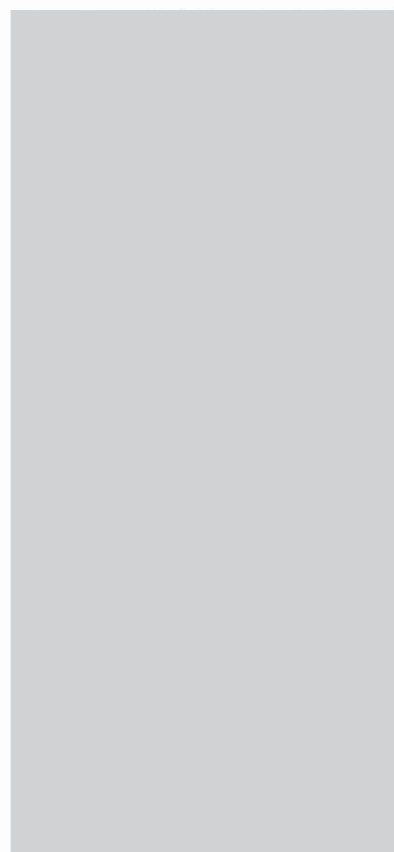
(501号)



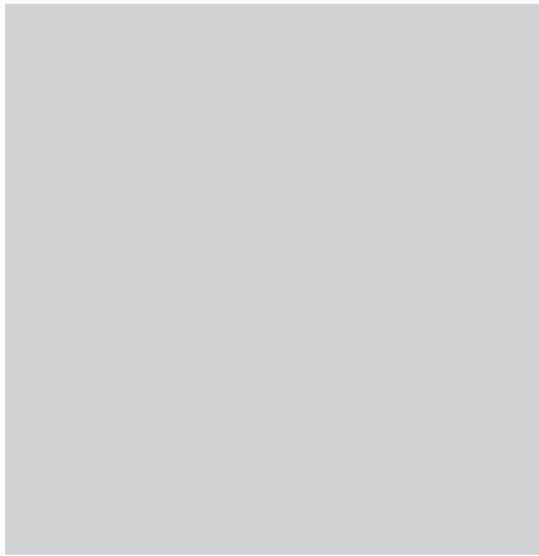
(右足柄前面)



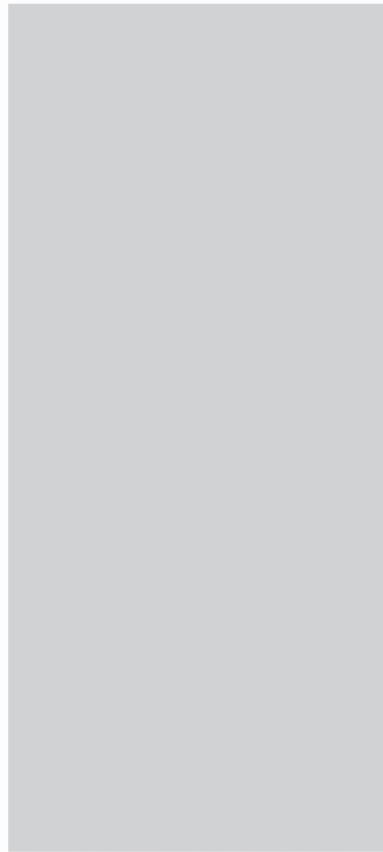
(左足柄外側)



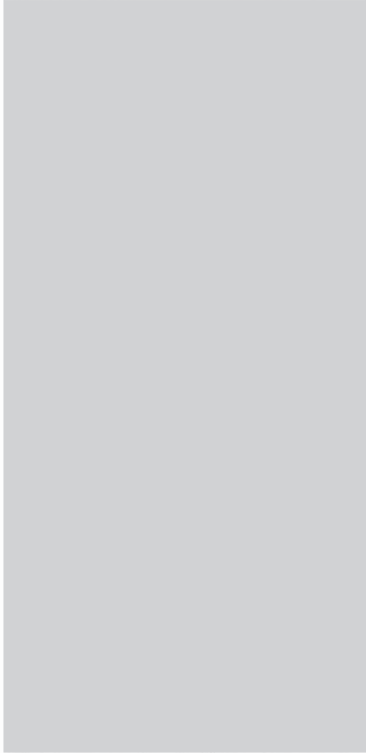
(503号)



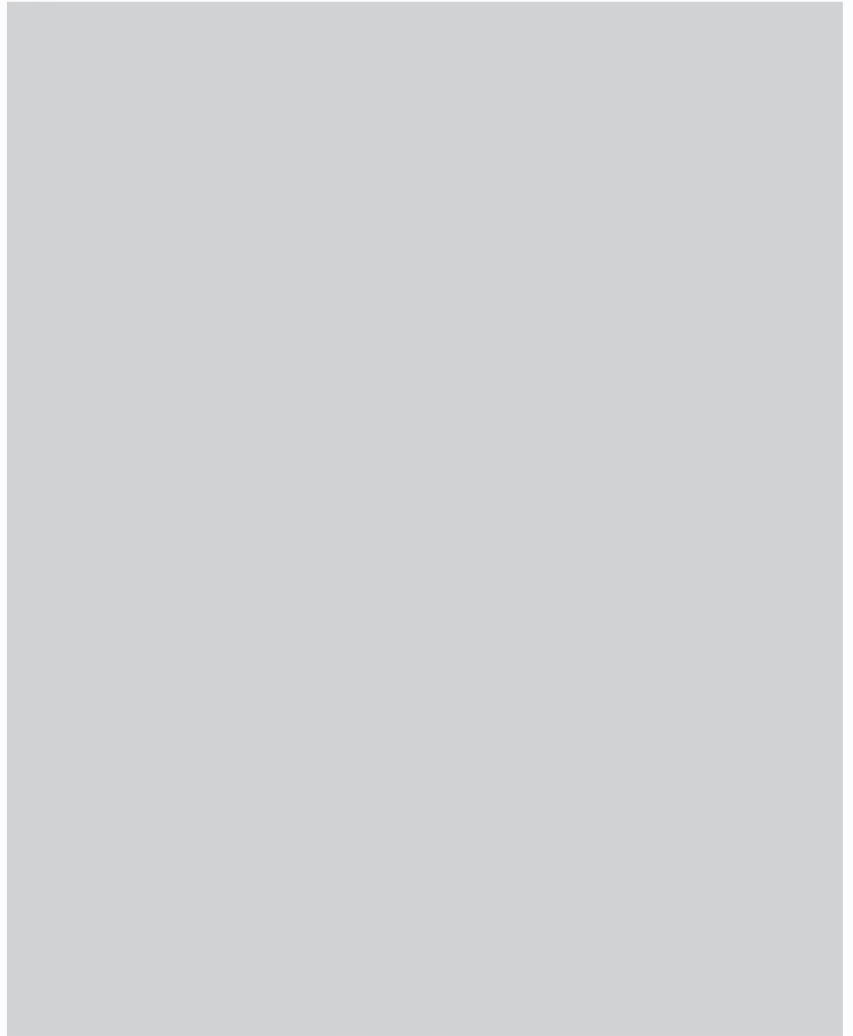
(右足柄外側)



(504号)



(画中左下隅)



7 仏涅槃図 名古屋市博物館